

2020 年度・事業計画書

"Smile and Warmth"



社会福祉法人 山梨檉の会

1. 法人本部

2020年は新たな感染症（新型コロナウイルス（COVID19））が日本を含め世界的に猛威をふるっている。私たちが運営する福祉施設では、複数の方が利用するため一度感染者が出ると拡大しやすい傾向にある。特に、感染すると重症化しやすい高齢者や子供を感染症から守るためには、『予防』を徹底・強化することが最も重要である。各事業所において来訪者の面会制限や職員の日々のマスク着用、うがい・手洗いの励行、ご利用者や職員の健康管理チェックなどを厳重に行ない、感染予防対策を徹底している。今後、できるだけ速やかにこの感染症が終息することを願うばかりである。

他方、2020年は我が国で東京オリンピックが開催される記念すべき年でもある。前述の感染症問題が終息すれば、各国を代表するトップアスリートの熱戦を間近に見られることやインバウンドの増加などによるオリンピック関連の需要増が見込まれる。日本全体が大いに盛り上がることは間違いないだろう。当法人もオリンピックを祝うとともにオリンピックに引けを取らないくらい地域福祉を盛り上げて、地域住民のウェルビーイング（幸福、精神的・身体的・社会的に良好な状態）の向上を目指し、職員一丸となって明るく躍動的な一年となるよう2020年度の事業計画を実行していくこととする。

さて、当法人では、昨年度より、新組織体制のもと、「ガバナンスを効かせコンプライアンスを徹底する」を合い言葉に、自主的経営基盤の強化・再構築に取り組み、このテーマを具現化していくための準備を行ってきた。そのため、本年度はこのテーマを本格的に始動することにより、より透明性のある組織運営を推進し、ご利用者やご家族との信頼関係の維持・構築や職員の人材育成、職場環境の改善に努めていくこととする。

また、各事業所においては、昨年度決定した **Our Strength**（私たちの強み）を具現化していくことにより、それぞれの事業所の独創性溢れる **Strength** を確立し、利用する方々が喜んでいただける支援を充実させていくとともに、各職員が誇りを持って職務を全うできるメンタリティを醸成させていくこととする。

さらに、**All Smiles** 計画 Vol.2（別紙）として、法人の理念の一つである『総合的（包括的）“人生”支援』（誰もが自分の人生を全うできる社会・コミュニティを創る）の確立を目指し、新規事業として、昨年度同様、障がい児童の療育支援や障がい者の就労と生活を支援する事業などを計画していく。また、昨年度の事業計画でも触れたが、**M&A**（事業譲渡や合併）や指定管理者の指定獲得による『法人の効率的大規模化』についても引き続き検討していくこととする。今般の社会福祉法人を取り巻く経営環境は厳しくなっている。社会福祉法人でも破綻するところが出始めており、独立行政法人福祉医療機構の2017年度経営状況の調査では、回答した6,930の社会福祉法人のうち、24.8%に当たる1,716法人が赤字であった。赤字の社会福祉法人の比率は2015年度21.3%、2016年度23.2%と年々上昇傾向にあり、経営が厳しさを増していることを示している。**M&A**や指定管理者の指定獲得による『法人の効率的な大規模化』は、新規事業による調達や開発などのインシャルコストを抑えられるため、経営的にも効率のよい事業展開が期待できる。また、大規模化による当法人の経営リソースが増えることにより、地域コミュニティにおける多種多様な福祉ニーズ、支援を必要としている人へのオールラウンドな体系的支援が可能となる。それは結果として、『総合的（包括的）“人生”支援』の理念と同義であるともいえる。

現在の日本社会は自然災害や感染症など様々なリスクによる経済的損失は明らかである。その影響は、

今後の社会福祉法人の経営にも更に厳しくのしかかって来ることが予測される。当法人は、緻密な計画のもと、『総合的（包括的）“人生”支援』を実現し、地域コミュニティの医療・福祉的イニシアチブを握り、ご利用者に選ばれる法人、オンリーワンの支援ができる法人、そして、未来に向けて生き続ける法人として進化していくこととする。

年間目標、取り組み：

1.目標：ガバナンスをさらに強化し、体系的組織運営の充実を図る。

取り組み：組織内の業務の効率化・スリム化、職務の責任・役割を明確に分掌化、スケールメリットを活かしたコスト削減を徹底する。

2.目標・取り組み：新卒者採用計画として、各事業所に来年度新卒者を1名以上採用する。

3.目標・取り組み：マニュアル作成委員会にて、業務内容をマニュアル化し、業務を統一化することによって画一的な質のレベルの確保と業務の効率化を徹底する。

4.目標・取り組み：人材育成教育委員会にて、職員全体のスキルアップと法人の将来を担う人材を育成するために体系的な教育制度を確立する。

5. 目標・取り組み：All Smiles 計画 Vol.2（別紙参照）

理事会・評議員会開催計画

月日	会議名	内 容
5 月中	理事会	2019 年度事業報告・決算報告、自立援助ホーム関係等
6 月中	評議員会	2019 年度事業報告・決算報告、自立援助ホーム関係等
10 月中	理事会	2020 年度第一次補正予算等
10 月中	評議員会	2020 年度第一次補正予算等
3 月中	理事会	2020 年度第二次補正予算、2021 年度事業計画・予算等
3 月中	評議員会	2020 年度第二次補正予算、2021 年度事業計画・予算等

定例行事計画

月日	会議名	内 容
4 月 1 日	入職式	2020 年度新卒者等の入職セレモニー
5 月～6 月	家族懇談会	法人・事業所運営の説明、ご家族からの意見要望確認等

会議・委員会活動計画

月日	会議・委員会名	内 容
----	---------	-----

第4木他	運営戦略会議	各事業所管理者との連携により、情報の共有化によるガバナンスの強化と戦略的な組織運営を促進する。
第4木・金他	事業戦略会議	事業所従事者との連携を深め、サービスの質の向上や業務の効率化、職員処遇の改善など事業所運営の適正化を図る。
4月中	全体会議	事業計画・事業報告などのを全職員が共有し、組織運営についての理解を深め、職員一人ひとりが組織の一員としての自覚を持ち、業務に臨むことを目的とする。
第3火	マニュアル作成委員会	業務内容をマニュアル化し、業務を統一化することによって画一的な質のレベルの確保と業務の効率化を徹底する。
第3水	人材育成委員会	職員全体のスキルアップと法人の将来を担う人材を育成するために体系的な教育制度を確立する。
第4金他	広報委員会	全事業の情報をカバーした広報誌等を発行し、法人全体の社会的認知度を高めることにより法人・施設運営のさらなる安定を図ることを目的とする。
第4金他	親睦会委員会	職員相互の親睦を図ることにより、他者理解と協働意識を養い、職員間のより一層の信頼・協力関係を構築する。

内部研修計画

月日	研修名	内容
随時	新人職員研修	法人理念、組織運営、接遇・マナーなどの基礎的理解

広報誌発行計画

月日	行事名	内容
7月10日	かしのかいだより	法人全体の事業活動などを紹介する。
1月10日	かしのかいだより	法人全体の事業活動などを紹介する。

健康診断計画

月日	内容
8月中	一般健康診断

清掃計画

月日	内容
毎日	車両清掃を行う。

福利厚生計画（職員）

月日	内容
----	----

8 月中	職員合同親睦会
12 月中	職員合同忘年会

2-1. 介護老人保健施設 甲府相川ケアセンター

2020 年度は、介護老人保健施設の役割の一つである、『在宅復帰』についての取り組みの構築をしていく。2018 年度の介護報酬改定により国の指針としても在宅復帰の支援を役割として明確にしていることから、今後は在宅にも目を向けての支援を考えていく必要がある。昨年度同様に、在宅復帰率、ベッド回転率、入所前後訪問指導、退所前後訪問指導等を各専門職が算定根拠を基にポイントとして、毎月確認を継続して加算型を目指していく必要がある。そして、甲府相川ケアセンター独自の在宅復帰支援プログラムを検討、作成をし、在宅での生活と施設での生活を繰り返しながら生活を続けていくシステムを作りあげていく必要がある。在宅復帰支援をしていくと共にご利用者の多様なニーズへの支援をしていくためにターミナルケアも継続して行っていく。

また、65 歳以上の認知症高齢者数と有病率の将来推計（内閣府平成 29 年版高齢社会白書（概要版）より）をみると、2012 年は認知症高齢者数が 462 万人と、65 歳以上の高齢者の約 7 人に 1 人（有病率 15.0%）であったが、2025 年には約 5 人に 1 人になると推計されていることから、認知症高齢者が増加していくことが推測されている。そのため、認知症についてのスキルも含み、スタッフのスキルの維持向上計画も継続していく必要がある。

以上の事を目標として、21 年目の甲府相川ケアセンターとして推進していく。

年間目標、取り組み：

1.目標：甲府相川ケアセンターの強みとして、在宅推進プログラムを作成する。

取り組み：在宅推進委員会を設置し、甲府相川ケアセンターとしてのご利用者が施設と在宅を結ぶプログラムを作成していく。

2.目標：認知症ケア等の日々のケアに関して有益となる研修の場を提供し、知識と技術を職員間で共有していく。

取り組み：毎月のフロア会議において事例検討などをおこない、また、外部研修への参加をすることで個々の知識と技術を上げていく共に、研修後の報告を行う事で共有をしていきながらチームのレベルアップを図っていく。

3.目標：新たなケア方法を取り入れ、ご利用者に寄り添うケアのレベルアップをしていく。

取り組み：ユマニチュードを学び、甲府相川ケアセンターに取り入れられることを検討していき、伝達、実践をしていく。

2-2. 甲府相川ケアセンター通所リハビリテーション

2020年度は、リハビリテーションの「活動」と「参加」の要素に働きかけるレクリエーション活動の充実の為、季節ごとの行事やイベント等を通してご利用者の生活の中に楽しみと社会参加のきっかけ作りをしていく。在宅生活を続けていく中で体力や生活機能が低下してくると自然と外出の機会が減ってきてしまう。身体機能の向上だけではなく活動や参加の生活機能全般を向上させ余暇活動を通じて他者との交流・つながりの楽しみを感じて頂き心身機能の維持向上・活性化ができるように環境作りを進めていく必要がある。生活に意欲を持ち「デイケアに行くのが楽しみ。」と感じて頂けるように心を込めたサービスを提供していく。

1. 目標：年間行事・レクリエーション活動の充実

取り組み：年間行事のスケジュールを作成し月に1回は、実施していく。

2. 目標：月平均利用者数27名（84.3%）を目指す。（通所支援相談員）

取り組み：31名の各曜日登録者数を維持していく。

2-3. 甲府相川ケアセンター居宅介護支援事業所

2020年度は、ご利用者が可能な限り慣れ親しんだ地域で自分らしく生活が続けることができ、地域社会に参加できるような日常生活が送れるよう支援していく。そのためにご利用者、ご家族の意向や想いをしっかりと把握し、その方がどのような生活を望んでいるのかをしっかりとアセスメントし、分析していく。ケースによってご利用者の心身状況、生活の様子、家族環境など違いがあるので、個々のケースの特性をしっかりと把握し、個別性を持った在宅支援を行えるよう支援していく。また職員個々のスキルアップのための、外部の研修、地域事業所との交流会に参加をする。また居宅内でも事例検討や困難ケースの共有など積極的に行っていく。自施設の特徴、強みとして包括支援センター、通所リハビリ、ショート、長期入所を併設しているので、スムーズな支援が行えるよう日頃からの連携を密に行っていく。

年間目標、取り組み：

1. 目標：介護給付管理者数100件、通所リハビリ紹介数34件を目指していく。

取り組み：戦略会議、事業所間連携会議を活用し、自事業所との連携を深めると共に、居宅会議にて数値的な分析、地域のニーズなどを把握し、給付管理数、デイケア紹介数の安定を図る。

2-4. 甲府市北東地域包括支援センター

2020年度は、甲府市地域包括支援センター事業方針において「地域包括ケア体制の進化・推進」の取り組みの一環として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域包括支援センターの機能強化を図るとともに、地域ケア会議等を開催し、高齢者を地域で支える環境づくりに努めることが求められている。また、認知症対策の推進においても重点的な課題となっている。

そのため、今後はさらなる包括支援センター職員（保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士）の資質及び専門性の向上が必要である。

年間目標、取り組み：

1.目標：介護予防、総合事業の毎月の給付管理者数合計 120 件を目指す。（委託を除く）

取り組み：一人一人が対応する毎月の給付管理者数 20 件を維持する。（委託を除く）

各課・フロア年間目標、取り組み

看護課

1.目標：看護の質の向上に努める

取り組み：定期的に勉強会を行い、知識・技術の更新を図っていく。

介護課 1 階フロア

1.目標：認知症についてチームで考え、アプローチをしていく。

取り組み：各月毎テーマを決めて、グループワークをしてアプローチの方法を決めていく。

介護課 2 階フロア

1.目標：知識と技術の向上

取り組み：毎月のフロア会議にて職員が講師を務め勉強会を行い、知識と技術の向上を図っていく。

リハビリ課

1.目標：職員の資質の向上と、個々のご利用者の QOL の向上を目指す。

取り組み：症例検討を中心にリハビリ内容の検討を行っていく。

栄養課

1.目標：お客様に満足して頂ける安全な食事提供をする。

取り組み：会議にて個人の食事形態の適正化を図り、献立内容検討を月 1 回行う。

支援相談員

1.目標：加算型を目指し維持するために、在宅復帰率 30%を目指し維持する。

取り組み：極力、入院者を出さないように施設長、看護課等と協力しながら、在宅復帰利用者の受け入れ

を増やしていく

介護支援専門員

1.目標：入所前後訪問指導を可能な限り実施して、実施率30%以上を維持していく。

取り組み：ご利用者、ご家族の意向を踏まえながら、退所後を見据えた生活機能の維持、向上のための具体的な目標を掲げた施設サービス計画書を作成する。

事務局

1.目標：職員、訪問客（利用者、家族、業者など）への笑顔を大切にし、丁寧な対応を心掛ける

取り組み：職員、訪問客に対して素早い対応と笑顔での挨拶をしていく。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
3月～4月	お花見	ご利用者と緑が丘公園などに出かけて、お花見（お弁当・レクリエーション等）をする。外の空気の中でお花を見ながら食事などをして楽しんでいただく。
5月31日（日）	家族懇談会	ご家族に昨年度の事業実績と今年度の事業計画等を説明し。ご家族の施設運営の理解と施設との交流を深める。
7月	納涼祭	ご利用者、ご家族、地域の方々、ボランティアや職員が参加をして、歌謡ショーや盆踊り、屋台などをおこない、夏の季節を楽しんでいただく。
9月	敬老会	ご利用者の長寿を祝う。しらゆり幼稚園の園児を招いて、歌や楽器演奏を披露していただきながら交流をしていく。
11月	文化祭	玄関ホールにご利用者、ご家族、ボランティアや職員が作成した作品を展示していく。
12月	クリスマス会	光の森のこども園の園児とクリスマスを祝い、歌や楽器演奏を披露していただき、園児とのプレゼント交換をしていく。

会議活動計画

月日	会議名	内 容
毎週水曜日	入退所検討会議	ご利用者の状態や家庭環境などを把握し、入所・退所・継続の適切な検討をする。
毎週水曜日	リーダー会議	施設全体・各セクションの情報共有、業務の見直し、利用者・職員状況の把握をして、施設全体としてチームケアシステムを構築していく。
毎週水曜日	担当者会議	ご家族へご本人の状況等をお伝えするとともに、各担当職

		員との話し合いをもとに、ご利用者の自立支援のためのケアプランを作成し、より良い生活支援が提供できるように努める。
毎月第2月・火・木・金	各課・フロア会議	学習会の実地。業務の見直し、改善や利用者の情報を共有し、各課・各フロアのチームとしての質の向上に努める。
毎月第2火曜日	居宅会議	各ケアマネの支援状況の確認、ケース検討、法令順守等の研修。
毎月第2・4火曜日	包括会議	業務の予定と進捗状況の確認。個別事例の検討。
毎月第4金曜日	事業戦略会議	法人本部と連携し、事業運営の健全化を図るとともに、地域に根ざしたオンリーワンの施設を目指す。
年1回4月	全体会議	全職員出席をし、新年度の運営目標を掲げ、全職員が共通した理解のもと、ワンチームとなった業務を推進する。

委員会活動計画

月日	委員会名	内 容
毎月第1月曜日	ケア向上員会	ご利用者へのケア向上についての検討をし、また、認知症をテーマにした企画・運営をし、職員の知識やケアのスキルアップに貢献する。
毎月第1火曜日	食事管理・食事向上委員会	ご利用者の栄養計画に基づく管理、嗜好調査、行事食の立案、食形態の研究等をしていながら、食事に関する質を高め、美味しく食べていただく。行事食などを企画立案して楽しく食事をしていただく。
毎週水曜日	リスクマネジメント委員会	リスクに対しての報告や改善対策などを検討する。年2回リスクマネジメント研修を開催し、リスクマネジメントについての知識や技術を習得する。
毎月第1木曜日	倫理・接遇委員会	ご利用者、職員に対する接遇についての目標を提示し、結果の分析をしながら、施設内の倫理、接遇を向上していく。
毎月第1金曜日	行事・レクリエーション委員会	ご利用者の生活リハビリの活性化と季節を感じていただくことを目的とし、日々のレクリエーションや納涼祭をはじめとした年間行事等の企画・運営をする。
毎月第2水曜日	在宅推進委員会	甲府相川ケアセンターにおける在宅推進プログラムを作成し、在宅復帰への道標を作成し、実施評価をしていく。
不定期開催	ターミナル対応委員会	ターミナル対象者のニーズ確認を行い、各専門職から看取り状況や看取り終了後の振り返り等について検討をする。

内部研修計画

月日	研修名	内 容
4月	労務・服務・倫理	職員の労働条件・服務規律・職業倫理について学習する。

8月	事故防止・感染予防・身体拘束廃止	RM委員会主催の事故防止・感染予防・身体拘束廃止についての研修
12月	事故防止・感染予防・身体拘束廃止	RM委員会主催の事故防止・感染予防・身体拘束廃止についての研修
2月	職員健康衛生	RM委員会主催の職員健康衛生に関する研修
3月	防災機器	防災業者による防災機器使用方法研修

行事食計画

月日	行事名	内容
4月初旬	お花見	お花見弁当
0412	武田神社の祭り	桜ご飯・桜餅
0501	八十八夜	茶めし
0505	端午の節句	柏餅
0616	麦とろの日	麦とろろご膳
0707	七夕	七夕ちらし
0711	納涼祭	屋台メニュー（焼きそば・焼き鳥・フランクフルト等）
0721	土用丑の日	うな井
0900	敬老会	敬老祝御膳（太巻き・稲荷）
0921	敬老の日	栗お赤飯
0924	秋のお彼岸	おはぎ
1001	十五夜	月見団子
1117	お楽しみ握り寿司	握り寿司（魚の解体ショー）
1200	クリスマス会	クリスマス御膳
1221	冬至	かぼちゃぼうとう
1225	クリスマス	クリスマスケーキ
1231	大晦日	年越しそば
0101～0103	お正月	新春お祝い御膳・雑煮
0100	餅つき	各フロアー
0107	七草	七草粥
0202	節分	大豆じゃご飯・いわし
0213	厄除け地蔵	きりざんしょ
0303	ひな祭り	ちらし寿司・甘酒・ひなあられ
0319	春のお彼岸	ぼたもち

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
0612	無し	土砂災害想定防災訓練（通報・2Fへ避難）

1001	有り	日勤想定訓練（通報・避難・初期消火）
0304	無し	夜勤帯想定訓練（通報・避難・防災機器備品説明）

地域ボランティア活動計画

月日	内 容	
1004	相川福祉と健康祭りへ参加をし、相談ブースを設けていく。	
1123	武田神社清掃奉仕活動へ参加をする。	

健康診断計画

月日	内 容	
0804	職員一般検診（1日目）	
0818	職員一般検診（2日目）・ストレスチェック回収	
0825	入居者胸部レントゲン	
0216	夜勤職員検診	

清掃計画

月日	内 容	
毎日 10 分間	各部署で所定の時間帯で清掃活動をする。デイ・居宅・包括は営業車の清掃を行う。	
1212	地域のボランティアに協力していただき、全館の大掃除を行う。	

福利厚生計画（職員）

月日	内 容	
	山梨県老人保健施設協議会ソフトバレー大会	
	山梨県老人保健施設協議会ボーリング大会	
10月～11月	職員旅行	

3-1. 特別養護老人ホーム ゆめみどり

2020年度は、昨年度、日本ユニットケア推進センターによる更新認可を受けたことで、あらためてユニットリーダー研修実地研修施設として活動していくことになる。職員一人ひとりが自身の行っているケアに対する誇りと、教育施設であるという自覚をより強く持つことと、ゆめみどりで生活する入居者一人ひとりの「その人らしさ」を尊重しながら、更なる個別ケアの充実に力を注いでいくこととする。

入居者のできることを大切に、入居者の想いがケアというかたちで提供できるように、意向や好みがいっしょに記載された24Hシートの作成と活用を進めていく。委員会を中心に個別ケアや24Hシートを

学びながら、知識や技術の向上を図り、理解や自信を深める機会とする。

入居者にとっての家であるユニットで、入居者が「いつもの人とのいつもの暮らし」が送れるように、ユニットリーダーの存在にも着目していく。ユニットリーダーがそれぞれの家の大黒柱として、十分に力が発揮できるような仕組みを構築し、入居者とその家族、専門職を含む他の職員とを繋いでいく存在になれるようにする。

また、入居者の暮らしには家族や地域の存在は欠かせないため、家族が希望を伝えやすく、地域の方たちが足を運びやすい施設となるよう、職員一人ひとりが積極的にアプローチをしていけるようにしていく。

年間目標、取り組み：

1. 目標：ゆめみどりの強みとして、個別ケアを更に推進するために、職員一人ひとりの自立と組織力を強める。

取り組み：①個別ケアを正しく理解し実践できるように、個別ケアやユニットケアに関連した研修会に参加する。

②全ユニットで提供するサービスの質の標準化が図れるように、毎月ユニットリーダーによる会議を開催する。

③面会時には家族に必ず声をかけて、暮らしの様子を伝えたり、暮らしに対する希望を聞くようにする。

2. 目標：地域とのつながりを深める。

取り組み：①毎月2回はサークル活動、ボランティアにより、地域の方と交流する機会を持つ。

3-2. ゆめみどりデイサービスセンター

2020年度は、現在までに培ってきた知識や技術を最大限に活用し、全てのご利用者の在宅生活がより安心、安全に継続していくことができるように、一人ひとりのニーズをしっかりと受け止めたうえで、個別ケアを実践していく。そのためには、PDCAサイクル（計画、実行、評価、改善）を意識したケアの確立が必要とされている。職員一人ひとりのアセスメント力の向上を図るため、外部研修への参加や事業所内の勉強会などを積極的に行っていく。さらに他事業所との連携も密に図っていくことで、多角的な視点での分析を行い、「その人らしい生活」が住み慣れた地域でいつまでも続けていけるよう、その生活に寄り添った介護の実現を目指す。

笑顔とぬくもり溢れるケアをスタッフ一人一人が考え、ご利用者と共に歩み創り上げていく。

年間目標、取り組み：

1. 目標：地域から選ばれる事業所になる。

取り組み：①季節感に応じたレク活動を提供する。

②職員間も含め、利用者目線に立ち丁寧な言葉遣いに努める。

③無事故・無違反・無クレームの送迎を実施する。

3-3. ゆめみどり居宅介護支援事業所

2020年度は、厚生労働省が提示する第7期介護保険事業計画の最終年度であり、2025年の地域包括ケアシステム構築の実現に向け自治体での基盤整備の推進が求められている。

居宅介護支援事業所も地域包括ケアシステム構築の一役を担うため、「地域の高齢者が住み慣れた場所で安心して自分らしい暮らしを続けることができるように」支援することを目指す。そのために、利用者の生活状況、身体状況、家族状況等の実情に即し、必要と思われる介護サービスや社会資源等を提案し、ケアプランの作成に努めていく。

また、介護保険法の理解を深め、制度改正等への迅速な対応ができるよう積極的に外部研修へ出向き質の向上に努める。各行政機関やサービス事業所や居宅介護支援事業所と情報交換・共有を行い、連携強化も図っていく。医療機関との連携強化にも力を入れ、入退院支援の協力や在宅での生活支援を推進し、新規利用者の確保や取得できる加算には算定をしていく。

年間目標、取り組み：

1. 目標・取り組み：年間平均給付管理者数36件以上を目指し、算定対象者がいる月は取得できる加算（入院時・退院時連携加算）を算定する。

2. 目標・取り組み：月1回甲斐市南地区主任介護支援専門員会議への参加、各行政機関及び医療機関に出向き情報交換・共有を行う。

各課・ユニットの年間目標、取り組み：

介護課

1. 目標：暮らしの意向が記された24Hシートを活用し、その暮らしぶりを記録に残すことができる。

取り組み：24Hシートに関連する委員会を毎月開催し、ケース記録も含めた内容の勉強会を年2回開催する。

A1 ユニット

1. 目標：入居者の希望を叶えるユニットになる。

取り組み：人員を多くする日をつくり、月に1回の外出を計画して入居者様の希望を叶える。
外出が難しい時期はユニット内で催し物を考えて行う。

A2 ユニット

1. 目標：入居者に寄り添い、更なる信頼関係を築いていく。
取り組み：日勤職員がいる日は、昼食又はお茶を一緒にする。

B ユニット

1. 目標：入居者が楽しみを持って生活できる
取り組み：週3回以上、一緒にお茶をしたり散歩をする時間をつくる。

C1 ユニット

1. 目標・取り組み：毎月、季節感を感じられるイベントや装飾を行う。

C2 ユニット

1. 目標・取り組み：入居者の希望に応じたレクリエーションを行う。

D1 ユニット

1. 目標：入居者の楽しみとなる活動を毎月1回行っていく。
取り組み：年間の担当者をリーダーが決め、担当となる職員が起案をしたものをユニット全職員で協力し行う。

D2 ユニット

1. 目標：24H シートの質を高め、入居者の意向に沿った暮らしができるようにする。
取り組み：毎月2名のカンファレンスを行い、意向に関する項目を重点的に出し、職員が情報共有を行う。意向の見直し、項目を増やす。

医務室

1. 目標：体操サークルを月2回開催する。
取り組み：定着してきたサークルでもあり、日常業務では気づけない利用者の変化にも注視していく。

生活相談員

1. 目標：年間入居稼働率98.6%を目指す。
取り組み：空きベッドができる前に、入居予定者の情報を2名準備する。

介護支援専門員

1. 目標：入居者、家族の生活に関する意向に基づき、24Hシートと連動したプランを作成する。

取り組み：サービス担当者会議の家族参加率 80%を目指す。

管理栄養士

1. 目標・取り組み：月 1 回、手作りデザートや軽食を提供し喫茶店を開く。

生活相談員（デイ）

1. 目標：月間稼働率 70%以上を目指す。

取り組み：①1 日 30 名の登録者を維持していく。

②毎月 10 事業所以上に足を運ぶ。

③甲斐市をはじめ各関連機関主催の研修等に積極的に参加する。

事務室

1. 目標・取り組み：入居者、デイサービス利用者の見守りを強化し、可能な限り介護職員の補助をする。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
0400	お花見	桜を見ながら春を感じてもらう
0530	家族懇談会（特養）	法人の理念や事業計画等を伝え、家族との交流を図る
0606	家族懇談会（デイ）	法人の理念や事業計画等を伝え、家族との交流を図る
0725	納涼祭	利用者や家族、地域住民と夏祭りを楽しむ
0916	敬老会	玉川保育園園児とともに利用者の長寿を祝う
1000	ハロウィン	ケントスインターナショナルプリスクール園児来訪
1018	運動会	楽しみながら身体を動かす機会を作る
1200	クリスマス会	竜王南あらかわ保育園園児の来訪
1228	もちつき大会	餅つきで年末年始の平穏を祈る
0104	書き初め	新年の抱負を書き、廊下に掲示する

会議活動計画

月日	会議名	内 容
0406	全体会議	法人・施設の理念や方針を共有する
毎月第 4 金	事業戦略会議	利用者や職員状況、施設運営の在り方を検討・確認
毎月第 4 金	リーダー会議	業務報告、利用者処遇の改善、リスクマネジメント
月 1 回	フロア会議	フロア業務を点検し、チームケアの質の向上を図る
月 1 回	ユニット会議	各ユニットで業務を点検し、チームケアの質の向上を図る
毎月第 1 水	ユニットリーダー会議	ユニットリーダーの資質向上と情報共有を図る

毎月第2金	デイサービス会議	業務報告、利用者処遇の改善、リスクマネジメント
毎週月	サービス担当者会議	個々のニーズに合ったケアプランの検討を行う
毎月第4金	入居者検討会議	入居待機者の入居の可否を検討する
毎月第3木	給食会議	給食委託会社と施設との業務調整を行う

委員会活動計画

月日	委員会名	内容
毎月第1木	レクリエーション・ボランティア委員会	納涼祭を主とした全体行事の企画・運営及びボランティアとの連携について検討・調整を行う
毎月第2水	個別ケア推進委員会	ユニットケア実践の検討と実践を協議する
毎月第2金	事故防止委員会	事故防止に向けた対策の検討を行う
毎月第2金	身体拘束廃止委員会	身体拘束廃止のため、基本・応用的な知識を身につける
毎月第3火	24Hシート運用委員会	24Hシートの理解と標準的な作成と運用への取り組み
毎月第4木	学習委員会	施設内研修会の企画・運営、各ユニット内での学習会の検討・調整を行う
毎月第4木	感染症対策委員会	感染症予防・対策の検討を行う

内部研修計画

月日	研修名	内容
0406	本部研修	法人・施設の理念や方向性を理解する
0528	権利擁護（虐待防止・身体拘束禁止）	高齢者の尊厳を守るために
0625	個別ケア①	高齢者が最期までその人らしく生活を送り続けるために
0716	緊急時対応	夜間や緊急時にはどのような対応が必要なのか
0827	情報の共有	情報共有のために記録やコミュニケーションが果たす役割
0924	介護技術①	介護技術のスキルアップを目的とした実践研修
1022	事故防止	事故防止に向けて辞令を用いて検討する
1126	感染症予防	感染症対策、予防方法を学ぶ
1217	個別ケア②	高齢者が最期までその人らしく生活を送り続けるために
0128	介護技術②	介護技術のスキルアップを目的とした実践研修
0225	認知症ケア	認知症対応とは？症状や事例をもとに学ぶ

行事食計画

月日	行事名	内 容
毎月上旬	誕生日食	赤飯、ケーキなど
毎月中旬	郷土食	全国うまいものめぐりと称した郷土料理
毎月下旬	セレクト食	2つのメニューから選択
年2回	にぎり寿司	屋台でのにぎり寿司
0707	七夕	そうめんなど
0725	納涼祭	屋台（焼きそば、フランクフルト、焼き鳥など）
0916	敬老会	祝い膳（赤飯）
1103	文化の日	栗ご飯
1225	クリスマス	ローストチキン、ケチャップライス
1231	大晦日	年越しそば
0101	正月	おせち料理
0107	人日の節句	七草粥
0203	節分	恵方巻、のり巻き
0303	ひな祭り	ちらし寿司

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
0624	有	日勤帯想定訓練（通報、避難、初期消火など）
1202	有	夜勤帯想定訓練（通報、避難、搬送など）

地域ボランティア活動計画

月日	内 容
年数回	当番月に玉川西区公会堂の清掃
1213	若一王子神社境内および玉川西区公会堂の大掃除

健康診断計画

月日	内 容
0527	職員健康診断（身体測定、血液・尿検査、胸部レントゲン、診察など）
1000	職員ストレスチェック回収
1125	夜勤職員健康診断（身体測定、血液・尿検査、心電図など）
1217	全入居者対象結核健康診断（健康診断）

清掃計画

月日	内 容
毎日	各配属先の清掃（拭き掃除、掃き掃除、備品の整理整頓など）
1212	大掃除（機械浴室、喫煙所、倉庫など日常的に行わない箇所）

福利厚生計画（職員）

月日	内 容
0600	法人ボーリング大会
1000	職員親睦イベント（バーベキュー、日帰り旅行など）
1212	法人忘年会

4-1. 地域密着型特別養護老人ホーム 和楽 WARAKU

2020年度は、その人個人を様々な視点から理解し、本人が希望する生活を提供できるように取り組んで行く。和楽WARAKUの入居者平均年齢は91歳となっている。人には人それぞれの生活歴がありその生活の中で自分自身が形成されている。本人の考え方や思いをしっかりと理解し受け止め、それを介護支援という形で提供することが本人らしさを持ちながら過ごして頂けるような生活援助を行うことに繋がっていく。今までの生活歴など幅広く情報収集を行い、本人を知ることと同時に現在の心身の状況を照らし合わせて本人が持っている現存能力を有効活用していく。心身の機能維持だけではなく本人が自分でできる、自分でできたという前向きな気持ちを持って過ごすことができるように支援を行うことも大切である。そのためにアセスメントは大切なものとなる。現在行っているアセスメントについても内容や質を向上させていくことが求められる。本人ができること、支援があればできること、一人では難しいこと、できるけれどしていないことなどを明確にして統一した介護を提供することで本人の安心感と満足感のある生活が送れるようにしていく。

年間目標、取り組み：

1.目標：和楽の強みとして、個々の本人が望む暮らしを提供する。

取り組み：ユニットケアを学び理解するためユニット会議等で学びの場を作る。

2.目標：入居者及び家族とより良い関係性の構築。

取り組み：①接遇意識を高く持ち、丁寧な言葉使いや対応を行う。

②施設職員として清潔感のある適切な身だしなみで業務を行う。

3.目標：地域との信頼関係の構築及び連携を強化する。

取り組み：①運営推進会議を2ヶ月に1回開催する。

②地域交流イベントを開催する。

③地域行事または地域活動に年1回以上は参加する。

4-2. ショートステイ 和楽 WARAKU

2020年度は、ショートステイを利用されている方、その家族状況なども理解しながら在宅生活の継続ができるように介護サービスを提供していく。現在、ショートステイを利用されている方も本人の心身の状況変化や家族の様々な生活状況の変化も見られている。家族状況が変化することによって在宅での介護が難しくなるケースもあり定期的なショートステイ利用から長期的に利用可能な施設に移られた方、利用日数や利用回数を増やしたいとの希望から他のショートステイを併用している方もあり、安定的なショートステイの運営をして行く為にも、できる限り希望に沿えるように対応をしていく。また、ショートステイを利用されている本人や家族と良好な関係性も築いていくことも大切である。担当介護支援専門員との連携を図りながら状況を把握し、適切なショートステイ利用につなげることにより家族介護負担の軽減ができるように取り組んで行く。

年間目標、取り組み：

1.目標：必要な方に適切なショートステイ利用が勧められる。

取り組み：①ユニットの現状を踏まえながら入居者の調整を行い空床ショート利用につなげる。

②不定期ショートステイ利用者に対して施設側から居宅介護支援事業所にアプローチをかける。

各課・ユニットの年間目標、取り組み

A ユニット

1.目標：自分でできることの継続ができる。

取り組み：生活リハビリを行いできる喜びを味わうことができる。

BC ユニット

1.目標：居室内の整理整頓。

取り組み：衣類の名前確認、離床時のベッド清掃、洗濯物をタンスにしっかりと入れる。

S ユニット

1.目標：本人が安心できる暮らしの環境作り。

取り組み：①その人に合った個別の環境整備を行う。

②荷物チェックをしっかりと行い忘れ物をしない。

医務課

1.目標：入居者の日常生活機能を維持する。

取り組み：週4回、入居者に声をかけテレビ体操を行う。

生活相談員

1.目標：安定した利用状況にする。

- 取り組み：①特別養護老人ホーム 年間入居稼働率 97.5%（前年比±0%）平均利用者数 28.27 人。
②ショートステイ 年間利用稼働率 87.5%（前年比+0.5%）平均利用者数 4.35 人。

介護支援専門員

1.目標：身体機能維持に視点を置いたケアプランの作成。

- 取り組み：①身体機能維持の為のケアプランを遅滞なく作成する。
②サービス担当者会議 家族参加率 70%。

管理栄養士

1.目標：安全な食事提供と食事内容の充実。

- 取り組み：①個々に適した食事形態の充実と提供。
②喜ばれるメニューの充実（季節食・地域行事）。

事務局

1.目標：お客様に心地よく感じて頂く。

- 取り組み：①事務所内、玄関回りの整理整頓を行う。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
0402	お花見	桜のお花見で季節感を味わう
0506	手作りランチ	野外で手作りの昼食を楽しむ
0500	家族懇談会	家族の安心、信頼関係の構築、事業透明性の確保
0617	職員発表会	職員の催し物で楽しむ
0715	手作り夕食	季節感のある手作りの食事を楽しむ（流しそうめん）
0807	夏祭り	室内にてお祭りの雰囲気を楽しむ
0921	敬老会	入居者の長寿を祝う
1017	秋祭り	地域の方も参加できるイベントを行う
1118	焼きも大会	手作りで焼きいもを楽しむ
1230	もちつき大会	もちつきで一年の平穏を祈る
0102	書き初め	新年の抱負を廊下に展示
0203	節分	節分豆まき
0317	お茶会	手作りおやつを楽しむ

会議活動計画

月日	会議名	内 容
0400	全体会議	全職員出席のもと業務上重要な事項を確認する
第4金	事業戦略会議	利用状況や職員状況の確認をし施設運営を検討

第4金	リーダー会議	業務報告、入居者処遇の改善、リスクマネジメント
月1回	ユニット会議	日常業務の評価と修正、チームケアの質の向上を図る
毎週月曜	サービス担当者会議	個々のニーズに合ったケアプランの検討
第4月(随時)	入居検討会議	各担当者間で利用申込者が入居できるか否か検討
第3火	給食会議	給食委託業者と合同で入居者の食の安全と満足度を高める検討を行う
2ヶ月1回	運営推進会議	入居者、家族、地域代表、有識者、市職員との連携

委員会活動計画

月日	委員会名	内容
第1木	レクリエーション委員会	入居者が参加しやすい行事の計画
第2水	ケア向上委員会	科学的介護の実践(水分ケア)
第3木	安全予防委員会	根拠に基づいた安全対策の実践
月1回以上	広報委員会	広報誌の発行、ホームページブログの更新
第4金(4・7・11・2)	身体拘束適正化検討委員会	権利擁護・人権擁護・身体拘束適正化等の検討
第4金(5・10・1・3)	感染予防委員会	感染症まん延防止のための予防策の検討(年4回開催)

内部研修計画

月日	研修名	内容
新人採用時	新人職員研修	職員の心得、事業計画、事故予防、感染、権利擁護
0410	救急法	緊急時の対応(心肺蘇生・AED他)
0508	権利擁護(認知症)	利用者の人権・身体拘束(身体拘束適正化検討委員会)
0612	レクリエーション	レクリエーションの意味・効果(レク委員会)
0710	介護技術	食事・入浴・排泄介助(SAユニット)
0814	事故予防(認知症)	事故予防(年2回開催)(安全委員会)
0911	認知症の人との関わり	コミュニケーションの取り方(BCユニット)
1009	ユニットケア	個別ケアの基本(SAユニット)
1113	感染症予防	感染症のまん延防止基礎知識(年2回開催)(感染委員会)
1211	認知症と水分ケア	認知症と水分ケア(ケア向上委員会)
0108	健康管理	日常の観察項目・対応(医務)
0212	アセスメントの書き方	アセスメントの視点・書き方(生活相談員)
0312	ターミナルケア	ターミナルケアの在り方(BCユニット)
0000	認知症とは	認知症の基礎知識(ユニット会議にて)

行事食計画

月日	行事名	内容
----	-----	----

0402	お花見	お花見御膳、甘酒
0412	武田神社の祭り	桜ご飯
0501	八十八夜	茶飯
0505	端午の節句	柏餅
0506	バーベキュー	野外料理
0616	麦とろの日	麦とろろご飯
0707	七夕	七夕メニュー
0721	土曜丑の日	うな井
0715	夕涼み	流しそうめん
0807	屋台メニュー	夏祭りの雰囲気味わいながら食事
0921	敬老の日	敬老祝御膳
0922	秋彼岸	おはぎ
1001	十五夜	月見団子
1029	十三夜	月見団子
1017	地域交流会	お楽しみメニュー
1221	冬至	かぼちゃぼうとう
1225	クリスマス	クリスマスランチ・ケーキ
1230	餅つき	餅つき
1231	大晦日	年越しそば
0101	お正月	新春お祝い御膳・雑煮
0107	七草	七草粥
0115	小正月	小正月団子
0202	節分	豆まき
0213	厄除け地蔵	きりざんしょ
0303	ひな祭り	華ちらし・甘酒・ひなあられ
0320	春彼岸	ぼたもち
0325	開設記念日	和楽御膳
毎月	誕生日	誕生日メニュー

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
0800	なし	夜間帯想定訓練（通報・避難・初期消火）
0200	あり	日勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）

地域ボランティア活動計画

月日	内 容
0900、0300	市内一斉河川清掃

0712	側溝清掃
0900	神明神社お祭り

健康診断計画

月日	内 容
0804、0818	全職員対象健康診断（身体測定、血液検査、尿検査、胸部レントゲン、診察 etc）
0805	全入居者対象結核健康診断（胸部レントゲン）
0216	夜勤職員対象健康診断（身体測定、血液検査、尿検査 etc）

清掃計画

月日	内 容
毎日	毎日の清掃計画以外でも落ちているゴミや汚れはその場で清掃を行う
毎日	汚物室清掃（SA ユニット）
毎日	洗濯機、乾燥機の清掃（BC ユニット）
毎日	医務室洗面台清掃（医務）
毎日	送迎車清掃（事務）
毎日	相談室・地域連携室テーブル拭き（事務）

福利厚生計画

(職員)

月日	内 容
1200	法人忘年会

5. 児童養護施設 あいむ

2020年度は「誠実」をキーワードにいかなる時も児童を尊ぶことを意識すると同時に、ともに学び合い児童自身の将来を思い描き共有することで相互に気づき合う過程を大切にする。具体的には、3ユニット目の小規模グループケア体制を整備することで人員配置を厚くし、下校後の支援を充実させ「ライフスーリーワーク」の実践のなかから将来の児童の生きる力の向上を目指す。

生きる力の一つでありあいむ独自の取り組みとして学習支援の中核にある4年目を迎えた公文式学習は、児童の高学年化に対応して実施時間を工夫し継続する。

また、高学年化し多感な思春期を迎えている児童の心理に対応するため、心理室に箱庭療法を導入し言語化出来ない児童の思いに寄り添い、全職員で共有し日々の支援に活かす。

年間目標、取り組み：

1.目標：今まで醸成してきた児童と職員の身近な距離感を活かし、あいむの強みとなるライフストーリーワークのエキスパート施設を目指す。

取り組み：①ライフストーリーワークに関わる研修に参加し、全職員が必要を知り知識を得る。

②楽しむための個別レクから発展し、共に生き立ちの整理をすることであいむで生活している意味を理解し、自分自身と向き合う力を育む。

2.措置成績に関わる事業計画

目標・取り組み：児童相談所からの措置打診は積極的に受入検討する。空床が生じた場合はショートステイや一時保護委託の受入を行う。

3.職員採用に関わる事業計画

目標・取り組み：法人施設間の活発な人事交流が想定されるため、新卒採用者を最低1名は確保する。

4.清掃に関わる事業計画

目標・取り組み：掃除を媒介として「規律・清潔・整頓・安全」を意識できる生活場所であるよう児童の成長過程に即した自立支援計画を作成する。

各課の年間目標

児童指導員・保育士：

目標：個と集団のバランスが取れた先進的な取り組みを行い、児童の生活実践力が高まる。

取り組み：児童を信頼して自主的な運営と活動を推奨し、自ら学び行動する姿勢を支援する。

支援相談員：

目標：卒園予定児の新生活がトラブルなく円滑に行える。

取り組み：対象児と計画的なリービングケアについて共有し、課題解決を主導する。

心理担当職員：

目標：全児童への心理的アプローチの実施が定着し全職員が児童心理を踏まえた上での支援ができる。

取り組み：箱庭療法を活用し、心理士による評価を全職員が共有する。

事務局：

目標：卒園後、児童の金銭管理が自身でスムーズに行える。

取り組み：児童とともに銀行やATMに出向く機会を持ち、お金の出し入れを指導する。

定例行事計画

月日	行事名	内容
毎月該当日	誕生日会	対象児童の嗜好メニューやプレゼント提供
年3回	ユニットレク	ユニット毎意見を集約してのレク（1ユニット年3回）

偶数月	公文頑張る外食	モチベーション維持のため公文学習に取り組む全児童対象
0411	お花見	県内近郊の桜の名所に出向き、季節を感じる
0418~0419	八ヶ岳自然教室	戸沢財団主催による別荘宿泊・登山等
0503	寄せ植え教室	山梨花き若手会による寄せ植え教室
0505	TOYRUN	バイク愛好家によるプレゼント贈呈・余興提供
0804~0805	キャンプ	県内キャンプ場での宿泊キャンプ
0810	自治会祭り	自治会イベントに様々な形で協力し地域交流する
0821	花火鑑賞	石和花火大会の鑑賞
0912~0913	八ヶ岳自然教室	戸沢財団主催による別荘宿泊・登山等
920	ふれあいマルシェ	あいむ敷地内での地域住民に向けた各種余興
1031	ハロウィン	児童・職員による仮装パーティー
1121	ディズニー	全児童・全職員によるディズニーツアー
1226	TOYRUN	バイク愛好家によるプレゼント贈呈・余興提供
1227	クリスマス会	石和健康ランドでの入浴・カラオケ・食事等
1228	餅つき	自分でついた餅を味わい、1年を振り返る
0104	ウインタースポーツ	近郊スキー場でのスキーor スノーボード体験
0203	豆まき	職員と児童が協力して節分行事を行う
0306	門出の会	高卒退所児を皆で祝い、エールを送る

会議活動計画

月日	会議名	内 容
第1金	全体職員会議	全職員で児童処遇検討他、業務上重要事項を確認する。
第3木	専門職会議	業務見直し、児童・職員の状況把握等。
平日13時	定例午後会	児童生活状況の共有及びミニ事例検討、業務確認を行う。
毎火14時	処遇会議	心理士と職員による児童の近況共有と支援検討。

委員会活動計画

月日	委員会名	内 容
第1金	学習支援委員会	児童の学力向上に向けた公文等各種取組みの実施と調整
第1金	性リスクマネジメント委員会	性問題及び虐待防止、防災訓練等の企画と実施検討
第1金	給食委員会	調理献立買い出し等に関する確認検討、食育活動
第1金	行事レクリエーション委員会	行事・レクリエーションに関する企画・実施の検討
第1金	研修委員会	内部研修の企画実施の検討と外部研修への勧奨、資料管理

内部研修計画

月日	研修名	内 容
毎月第3金	事例検討会	外部講師を招いての事例検討

4月1週	新人職員	新人職員のオリエンテーション他業務レクチャー
0508	性教育	児童の性リスクについての理解
0605	衛生管理	館内清掃とキッチンやトイレの衛生管理
0904	事故防止	ヒヤリハットの評価検証
1002	権利擁護	児童の権利を保障するための講義
1204	虐待防止	施設内虐待防止のための講義

行事食計画

月日	行事名	内 容
毎月該当日	誕生日会	児童の嗜好に合わせた特別メニュー
0410	入学御膳	お赤飯を入れたお祝いメニュー
0411	お花見弁当	花見を行いながらの屋外喫食
0505	こどもの日御膳	こどもの日を祝う夕食
0707	七夕	七夕に合わせたメニュー提供
0721	土用丑の日	うなぎの提供
0820	流しそうめん	中庭でのお楽しみ流しそうめん
0913	十五夜	月見団子作り
1031	ハロウィンパーティー	かぼちゃを使ったメニュー提供
1123	ほうとう	手打ちほうとうを囲み、山梨の食文化を学ぶ
1225	クリスマス	児童の嗜好に合わせたクリスマスメニューの提供
1227	餅つき	毎年恒例の餅つき大会
0101	お正月	手作りおせちの提供
0203	節分	手作り恵方巻の提供
0303	ひな祭り	児童の嗜好に合わせたひな祭りメニューの提供
0321	みそ作り	毎年恒例の手前味噌作り

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
0424	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定
0529	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）地震想定
0626	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難）水害想定
0731	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定
0828	有	日勤帯想定訓練（通報・避難）池田地区防災訓練と連動
0925	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定
1030	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難）地震想定・通報訓練を付帯する
1127	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）地震想定
1225	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定

0129	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難）地震想定
0226	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定
0326	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難）水害想定

地域ボランティア活動計画

月日	内 容
小中夏休み中	児童が参加するラジオ体操や球技大会の補助・支援
0810	自治会夏祭りの設営・片付け
1010	自治会子どもみこし運営参画
1123	八幡神社（自治会館）清掃
1212	自治会クリスマス会運営参画

健康診断計画

月日	内 容
0804・0818	一般健康診断
0216	夜勤従事者健康診断

清掃計画

月日	内 容
11月	専門業者による屋内外の清掃・整理整頓
月1回	担当職員による児童居室の状況確認及び整理整頓
毎日1回	職員による敷地内清掃

福利厚生計画（職員）

月日	内 容
年3回	内規に沿い1人年3回（1回3,000円）支給し親睦を深める
年1回	法人親睦ボーリング大会に積極的に参加する
年1回	法人忘年会に積極的に参加する

6. 自立援助ホーム MIRAI

2020年度は、開設から1年の歩みの中で得た反省と自信を糧にして自立援助ホームが持ち得る機能を最大限発揮するため、潜在的ニーズの発掘に注力する。具体的には、支援を要する入居者の確保を目指し関係諸機関との連携がスムーズに行えるよう勤務形態を見直すこととする。

これにより外部発信が効果的になると同時に在籍児童と関わる機会が増え、具体的な目標設定を確認

し合うことが可能となる。日頃から自立を意識した社会常識やマナーが社会との関わりの中から習得できるよう支援するため地域との連携を意識し、独り立ちするための知恵を身に付けていく。

年間目標、取り組み：

1.目標：毎月5名以上の在籍児童を確保して安定した運営状態を維持する。

取り組み：医療・教育・行政等の青少年相談機関との関係性を構築するため、広報活動を行う。

2.目標：在籍児童が個々の能力に応じた生活習慣を身に付けることができる。

取り組み：個々の自立目標を明確に設定し、毎月評価修正する。

3.目標：在籍児童が安心安全に生活できる環境を維持する。

取り組み：職員が常に見本となるよう言動に留意し、秩序ある生活が営めるよう指導助言する。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
各誕生日	誕生日会	在籍児童の誕生日会
0808	バーベキュー会	近隣住民を招いてのバーベキュー大会
0920	あいむマルシェ	池田ふれあいマルシェ in あいむへの出店
1120	ディズニー旅行	日帰りでのディズニーリゾート旅行
1225	クリスマス会	在籍児童・職員とのパーティー

会議活動計画

月日	会議名	内 容
毎月第1金曜日	職員会議	全職員での懸案事項の協議検討
毎月第4火曜日	寮生ミーティング	寮生と職員との懇談ならびに協議

内部研修計画

月日	研修名	内 容
0619	事例検討会	寮生の事例提供を行いケースカンファレンス実施
1218	事例検討会	寮生の事例検討を行いケースカンファレンス実施

行事食計画

月日	行事名	内 容
各誕生日	誕生日会	対象児童の嗜好メニュー提供
該当月	就業継続祝い	就業から1年継続した場合、希望外食を個別提供する
		その他あいむに準ずる

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
0626	無	通報・避難訓練（火事）
0925	無	通報・避難訓練（水害）
0129	無	通報・避難訓練（火事）

地域ボランティア活動計画

月日	内 容
毎月第1日曜	MIRAI 近隣の掃き掃除及びゴミ収集

健康診断計画

月日	内 容
0804・0818	一般健康診断
0216	夜勤従事者健康診断

清掃計画

月日	内 容
毎日8時	MIRAI 屋内外の清掃・整理整頓
毎月第1週	在籍児童居室の状況確認及び整理整頓
1212	全職員・全寮生での大掃除

福利厚生計画（職員）

月日	内 容
年3回	内規に沿い1人年3回（1回3,000円）支給し親睦を深める
年1回	法人親睦ボーリング大会に積極的に参加する
年1回	法人忘年会に積極的に参加する

7-1. 児童発達支援センターかしのみ学園

2020年度は、継続して地域の中核的な児童発達支援事業所として、祝日・土曜日を開園し23日の支援を提供していることを強みとし、児童発達支援センターかしのみ学園（定員30名）・重症心身障害児事業所（定員5名）の児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業・相談支援事業が、それぞれ有機的な連携を図り、子ども達の発達と家族支援を中心に専門機能を発揮するようにする。さらなる強みとしてご利用者からのニーズに明確な返答ができるように、かしのみ学園としての療育活動の根本を確立する必要がある。職員は利用園児の特性を「把握」「評価」し「根拠」のある個別や集団としての療育活動を

行っていく為、職員一人ひとりが知識の習得に努め、責任と自覚を持って業務に当たり、日々の療育活動の改善への意欲を持つ必要がある。職員の資質向上と能力開発を図るために資格取得研修や専門家による外部研修への参加を促し、施設内研修の内容を充実するなど、人材の育成に努める。

年間目標、取り組み：

① 目標：かしのみの強みとして、子どもの個別支援目標を保護者・職員と共有し、根拠のある療育活動を行う。

取り組み：保護者・家族のニーズを確認し、毎月のクラス会議で子どもの特性を把握・評価することで根拠のある支援目標を作成していく。

② 目標：全職員が提供する療育活動の知識を深める。

取り組み：四谷学院が認定する発達障害児支援士資格等の資格取得研修、山梨県強度行動障害支援者養成研修受講者の受講を行う。また、全職員が専門家による外部研修へ必ず参加する。

児童発達支援管理者

年間目標、取り組み：

① 目標：適切な個別支援計画を立てる。

取り組み：個別支援の質を高めるために、外部講習による児童発達支援の考え方や手法の基礎を固め、個別支援計画の立案、職員への助言、家族への適切な助言を行い、協働して児童の発達支援を行う。

② 目標：平日各曜日の登録児童数を各クラス 11 名、平日平均 26 名以上を目指す。

取り組み：相談支援事業所にこっとと連携し、利用者の状況を把握しながら利用児童の確保に努める。

児童指導員/保育士

年間目標、取り組み：

目標・取り組み：児童発達支援管理責任者とクラスリーダーが連携し、自立支援計画の作成やそれに基づく適切な療育を行う。また、保護者とのモニタリングには出来る限り同席し、相談助言スキルの向上も合わせて行う。

理学療法士

目標・取り組み：園児の情報を保護者と共有し、児童の身体機能の向上・維持と低下予防に努める。最終目標は、日常生活応用動作の獲得とする。

7-2. 保育所等訪問支援事業かしのみ

2020 年度は、併行通園のニーズが高まり、それに伴い保育所等訪問支援事業のニーズも高まっている。相談支援事業所にこっとが併設されていることを強みに、障害児に対して、地域の児童との集団生活に

適応することができるよう支援を行い、心身の発達を促すものとする。保育所等訪問支援で得た内容を、かしのみ学園・にこっと・児童の在籍する園・保護者と共有し、一貫した支援を行う。

年間目標、取り組み：

目標：相談支援事業所にこっと、児童発達支援センターかしのみ学園と連携を図りながら、サービスを必要としている児童・保護者・在籍機関との調整をおこない、必要な支援を提供する。保育所等訪問支援事業の拡大と質の向上を目指し、かしのみ学園としての保育所等訪問支援事業の基礎を築いていく。今年度は訪問件数 15 件以上を目標とする。

取り組み：1 時間～1 時間半程度の直接支援を行った後に 30 分～1 時間程度の間接支援を行う。児童・保護者・在籍する園からのニーズを引き出し、支援計画・支援内容に反映していく。また、必要に応じペアレントトレーニングを行い、児童への対応について助言・提案をしていく。

7-3. 児童発達支援事業所かしのみ（重心）

2020 年度は、昨年度から築き上げた、医療、行政、または他事業所とのネットワークを強みに、在宅重症心身障害児へ、一貫した療育、医療的ケアを行うことで、個々の持てる力を引き出し、発達を促していくことに努めていく。

年間目標、取り組み：

目標：利用する園児一人ひとりの疾患や病態生理を把握、理解した上で、個々の特性に即した支援、療育を行い発達を促していく。

取り組み：園児の関わる医療機関等と連携を図り日常生活上の留意点を共有し最善の療育を行う。

医療機関や他事業所と共有した情報はクラスのスタッフとも共有し、必要時には勉強会なども行う。

児童発達支援管理者

①目標：適切な児童発達支援計画を立てる。

取り組み：園児それぞれの状況の把握をする。また、各園児の発達段階を踏まえた上で支援の質の向上を目指すため、職員研修計画を立て、事業所内外での一貫した内容の研修を受講し、それを他の職員と共有できるシステムを構築させる。

② 目標：利用契約児童数を確保する。

取り組み：園児一人ひとりの利用状況を把握し、それぞれの体調管理を行い、また、相談支援事業所にこっととも連携して、平日の平均利用者 3.5～4 名の確保をしていく。

看護師

目標・取り組み：園児一人ひとりの情報を保護者やスタッフと共有し、適切な看護業務を行う。

児童指導員/保育士

目標・取り組み：園児一人ひとりの状況を把握し、自立支援計画に基づいた適切な療育を行う。

理学療法士

目標・取り組み：園児の情報を保護者と共有し、児童の身体機能の向上・維持と低下予防に努める。
最終目標は、歩行能力の獲得とする。

7-4. 相談支援事業所にこっと

2020年度は、これまで築き上げたご家族との関係性や、保健・医療・福祉・教育等の関係機関との緊密な連携を保ちつつ、指定障害児相談支援を当該利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情に応じ、適切かつ効果的に行うものとする。

年間目標、取り組み：

目標：かしのみ学園（センター）・かしのみ（重心）と連携し利用児童数を確保していくとともに、各関係事業所や地域の教育機関・保育所とも顔の見える関係性を継続して構築していく。

①取り組み：各関係機関からの情報を相談部会・定期的な訪問を通して得ることに努めていき、得た情報からアプローチを行い適切にセンター・保育所等訪問支援・重心へと利用者をつなげていく。

②取り組み：他事業所を利用する保護者・関係者と連携を図りながら各種サービスを紹介し、必要に応じて連絡調整を行う。

相談員

年間目標、取り組み：

目標・取り組み：利用者のニーズに応じて適切な利用計画書を作成し、各関係機関と計画書の内容を共有することで利用者に対して一貫した支援が行えるように努めていく。また行政・教育機関・保育所等に定期的な連絡を取り合うことで地域のニーズを拾い上げ、かしのみ学園・保育所等訪問支援・かしのみへと情報を共有し利用者の確保に繋がるよう働きかけを行っていく。

栄養士

目標・取り組み：クラス担当職員と児童の状況を共有することにより、児童の食物アレルギーを理解し、栄養バランスの摂れた食事を提供する。

事務局

目標・取り組み：ミス無く正確で迅速な事務を行う。電話対応及び来園者への接客対応を丁寧に行う。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
0401	2020年度入園・進級式	入園式・進級式（保護者参加）
0530	家族懇談会	家族懇談会・療育の様子を見学して頂く（保護者参加）
0627	保護者参観日	療育の様子を見学して頂く（保護者参加）
0801	夏祭り	園庭で夏祭りを行う（保護者参加）
0825	交通安全教室	「さちかぜごう」による交通安全教室
1017	運動会	園庭で運動会を行う（甲府支援学校体育館にて運動会を行う）
1107	遠足	遠足を行う（保護者参加）
1128	保護者参観日	療育の様子を見学して頂く（保護者参加）
1225	クリスマス会	子どもたちとクリスマスを祝う
1228	餅つき	あいむと合同餅つき
0203	節分	豆まきをして子どもたちの健康と安全を祝う
0326	卒園式	卒園式・修了式を行う（保護者参加）
0401	2021年度入園・進級式	入園式・進級式（保護者参加）

会議活動計画

月日	会議名	内 容
毎営業日	定例朝礼会議	園児数・1日の流れ・ヒヤリハット・伝達事項の確認
毎月第一金曜日	全体職員会議	研修・療育の検討・業務上重要事項の確認
毎月第三週火・水・木曜日	クラス会議	個別支援計画・クラス運営全般を検討
毎月1回	情報共有会議	業務見直し他、児童受入れ状況把握・検討等

委員会活動計画

月日	委員会名	内 容
毎月第一金曜日	リスクマネジメント	虐待・ヒヤリハット・防災・感染予防の担当に分かれ事業所内外のリスクに関する啓発、確認
毎月第一金曜日	給食	調理・献立・仕入れ等に関する確認や検討と児童への嗜好調査
毎月第一金曜日	研修	内部研修の企画・実施の検討と研修資料の管理
毎月	行事係（持ち回り）	行事・レクリエーションに関する企画・実施の検討
毎月	広報係（持ち回り）	園だよりの作成・ブログの作成

内部研修計画

月日	研修名	内 容
0403	全体研修	法人・施設の理念や方向性を理解する
0410	リスクマネージメント	ヒヤリハットの活用
5月	標準予防策	スタンダードプリコーションについて
6月	救命救急	水遊びのプール設置前の救命救急
9月	人権擁護・虐待研修	体制確認と虐待研修
10月	感染症・嘔吐処理	感染症対策
2月	摂食・嚥下	食事時の留意点の確認
随時	自由参加研修	運動遊びとダンス・手遊び・DVD研修

行事食計画

月日	行事名	内 容
0501	子どもの日	鯉のぼりオムライス かぶとパイ (おやつ)
0604	虫歯予防デー	ひじきごはん
0707	七夕	七夕そうめん 七夕ゼリー (おやつ)
0722	海の日	海カレー
0807	山の日	オムライス 富士山ゼリー (おやつ)
1001	十五夜	みたらし団子 (おやつ)
1030	ハロウィン	おぼけハンバーグ かぼちゃ饅頭 (おやつ)
1225	クリスマス	タンドリーチキン
0107	七草	葉飯
0203	節分	節分ボール (おやつ)
0303	ひなまつり	ちらし寿司

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
0403	消火訓練	初期消火及び避難訓練
0501	地震訓練	避難訓練・誘導灯の確認
0605	火災訓練	通報訓練及び避難訓練
0703	消火訓練	避難訓練・水消火器での消化訓練
0807	水害訓練	児童養護施設あいむに避難・合同訓練
0904	火災訓練	初期消火・避難訓練
0925	防犯訓練	不審者が侵入したと想定し訓練
1016	地震訓練	保護者への引き渡し訓練
1106	地震訓練	誘導避難訓練
1204	火災訓練	初期消火及び避難訓練

0108	火災訓練	初期消火及び避難訓練
0205	地震訓練	避難・誘導訓練
0305	火災訓練	初期消火及び避難訓練

健康診断計画

月日	内 容
0513	園児内科検診（大沢医院）
0624	園児歯科検診（湯村歯科）
0804	職員定期健康診断
0818	職員定期健康診断
1014	園児内科検診（大沢医院）
0210	園児歯科検診（湯村歯科）

清掃計画

月日	内 容
1107	全館内清掃業者による館内清掃
6・7・8・9・10・12・2・4月	グリストラップの清掃
6・9・12・3月	給食室の害虫駆除
1212	大掃除